

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 1 日

Table with columns for 事務事業名 (桜川市PR事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 事務事業No. (060101000948), 所属課 (010101), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 手段名), 財務会計上の位置付け, 予算科目, 法令根拠.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about PR products and ambassador activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for PR products, ambassadors, and PR activities.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes sub-tables for 投入量 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 事業費の内訳 (11 需用費).

(4) 当該年度の実施内容

Table showing implementation content for 01, 02, and 03 fiscal years. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. Lists main activities like '市長マニフェスト' and '合併建設計画事業'.

事務事業名	桜川市PR事業	事務事業No.	60101000948	所属課	秘書広報課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

- ・平成28年度より、茨城県人会時の特産品のPRや市長が他の自治体に訪問する際に特産品のPRをするために始まった。平成29年度より県人会時の特産品のPRは商工観光課で実施することになった。
- ・市の魅力を広く全国に発信し、市の知名度向上及びイメージアップを図るため、平成28年12月1日に「さくらがわ応援大使設置要綱」を策定した。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	・市の特産品をPRするための事業なので、魅力と活力ある産業づくりに結びついています。 ・大使に、市の魅力を広く全国にPRしてもらうことで、市の知名度向上及びイメージアップに繋がります。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	・桜川市の特産品PRのために、公費を支出してPRすることは妥当です。 ・大使に、市のPRをしてもらうために必要です。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	・特産品の数が限られており向上の余地はありません。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市の特産品のPRができなくなります。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 観光PR事業	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる	桜川市の特産品をPRする事業であるため、観光関係の事業と連携ができる。 大使については、観光大使を新たに設置することで、PR大使として連携できると思われる。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	・自治体等を訪問した際の特産品のPRなので、削減の余地はありません。 ・大使には、PRのための名刺とPR品の支給のみなので、削減の余地はありません。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	・桜川市のPRするための事業なので、公平・公正です。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	本年度は、茨城県人会へ2回参加し特産品のPRを行った。また、市長が他の自治体を訪問した際に市の特産品をPRすることができました。 大使については、観光大使を新たに設置することで、PR大使として連携できると思われる。																													
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持		○																												
低下	維持																														
	低下																														
(6) 事務事業優先度評価結果																															
成果優先度評価結果		⑤																													
コスト削減優先度評価結果																															

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>